FINOWA GUIDE 2027

税理士試験の大学院免除ルート比較 2027

17校・34ルートを、免除分野／社会人適合／オンライン／学費／指導体制／期限で整理

17校	34	29	10/07
比較対象	管理ルート	診断対象	更新日

このPDFの前提

大学院を修了しただけで税理士試験科目が自動的に免除されるわけではありません。研究成果の作成と、国税審議会による認定が必要です。掲載情報は公式資料で確認できた事項と「確認中」を分け、推測による断定を避けています。

今回の更新ポイント

- 東洋大の2月試験出願日を 2027/1/5-1/13 に確定
- 拓殖大のII期を「郵送11/30-12/10／窓口12/11」に精密化
- 関学R027/R028は免除論文指導の受付終了、通常入試とは分離
- 亜細亜R018/R019を法学研究科／経済学研究科で明確化
- 法政R034は免除論文指導再開を確認できず、掲載保留を維持

Web比較表を開く　候補診断ツール

制度理解

大学院免除ルートで確認すべきこと

大学院修了だけで税理士試験科目が自動的に免除されるわけではありません。税法または会計学に関する研究成果を作成し、国税審議会の認定を受ける必要があります。比較では、研究科名だけでなく、免除分野、研究成果形式、指導体制、入試方式、出願期限を分けて確認します。

FIG 01 制度フロー



重要

「大学院に合格した」「修士号を取得した」ことと「税理士試験の税法・会計学免除が認められた」ことは別です。大学ごとの案内は、研究指導を受けられるかまで確認してください。

比較時の3つの確認ポイント

免除分野

税法か会計学か。大学名ではなく研究テーマと成果物で確認。

研究指導

担当候補がいるだけでなく、2027年度に受入可能かを確認。

期限

通常入試と免除論文指導希望者の期限を分けて確認。

比較前提

比較表を見る前の前提

本資料では「大学院の出願受付」と「免除を目的とした論文・リサーチペーパー指導の受付」を分けて扱います。大学院入試が残っていても、免除論文指導の受付が終了している場合があります。また、科目担当教員がいることと、免除申請を前提とした研究指導を受けられることは同義ではありません。

FIG 02 比較5軸

1 免除分野

税法 / 会計学

2 社会人適合

夜間・土曜・勤務調整

3 オンライン

講義だけでなく指導・審査

4 学費・給付

正式額と参考額を分離

5 指導体制

A / B / C / 保留

公開区分の読み方

公開可能	公式資料で主要項目を確認。
条件付き公開	未確定項目を注記して掲載。
調査継続	指導体制等が未確定。
受付終了	2027春の免除論文ルート締切済。
掲載保留	比較本編から除外。

関西学院大学の例

R027/R028は通常の大学院入試自体が終わったという意味ではありません。2027春の「論文指導」希望者は10月A方式＋学力考査が必須で、9/24に締切済みです。通常入試と分離して表示します。

総合比較

17校・34ルートの全体像

8	公開可能
21	条件付き
2	調査継続
2	受付終了
1	掲載保留

青山学院	2 / 2	条件付	◎/○	補助のみ	C / A-B	会計 11/6-10｜税法 1/15-18
明治	2 / 2	条件付	◎/○	ハイブリッド等	C / A	MBS 10/2-13｜専門 11/9-13
中央	1 / 0	公開	×	一部科目	A / A	11/23-27
大原	1 / 1	公開	◎	未確認	A / A	10/28-11/6
千葉商科	1 / 1	調査	◎/○	◎/対面	B / C	10/15-29
専修	1 / 1	条件付	◎	未確認	A / B	1/18-25
東洋	1 / 1	条件付	○/◎	未確認	B / B	1/5-13
亜細亜	2 / 0	公開	◎/○	未確認	B / A	1/8-14
日本	1 / 1	条件付	◎	未確認	C / A	1/8-14
拓殖	1 / 1	公開	◎/△	未確認	B / A	郵送11/30-12/10｜窓口12/11
駒澤	1 / 0	条件付	×	×	C / A	1/5-8
関西	1 / 1	条件付	×	×	C / A	12/18-1/8
関西学院	1 / 1	受付終了	◎	×	C / A	論文指導 9/24締切済
立命館	1 / 0	条件付	×	未確認	B / B	12/3-17
神戸学院	1 / 1	条件付	×	×	C / A	1/6-14
開志創造	1 / 1	公開/条件	◎	◎	A / A-B	10/5-30
法政	1 / 0	保留	保留	未確認	D / 保留	比較本編は非表示

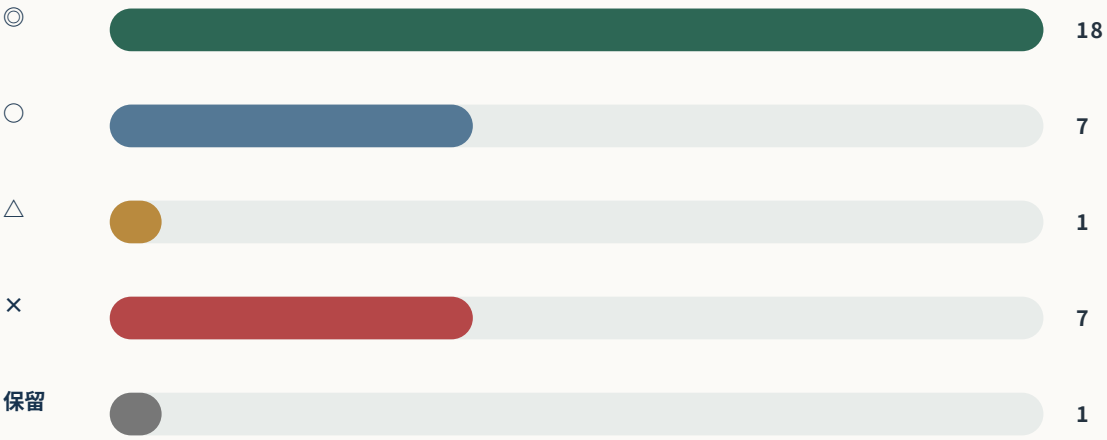
注：法政大学R034は、2018年度以降の税法科目免除用修士論文指導停止の公式告知が現在も公開され、2027再開を確認できないため比較本編では掲載保留です。診断対象も29ルートに限定しています。

社会人適合

働きながら通えるかの見方

社会人適合度は大学の優劣ではなく、標準的なフルタイム勤務を続けながら修了しやすいかを示す実務上の目安です。夜間・土曜、オンライン、必須登校、研究指導の時間帯、審査形式を組み合わせて判断します。

FIG 03 社会人適合度の分布（34ルート）



判定イメージ



◎・○・△・×は「通いやすさ」の目安であり、入試の合格可能性や税理士試験免除の認定可能性を示す評価ではありません。勤務形態や居住地によって実際の負荷は変わります。

オンライン

オンライン対応の読み方

オンライン対応は「講義」だけでなく、研究指導・論文指導・中間審査・最終審査まで含めて確認します。講義の一部がオンラインでも、免除論文指導や最終審査で対面が必要なら完全オンラインとは表示しません。

オンライン表示の現状（34ルート）



◎	講義・研究指導を含めオンライン性が高い	ただし審査・登校条件は個別確認
ハイブリッド	オンラインと対面を組合せ	対面日を必ず確認
補助／一部科目	一部講義等のみオンライン	論文指導は別判定
×	論文指導等で対面が中心	遠距離通学は負荷大
未確認	一次資料だけで断定しない	「オンライン可」と推測しない

例：千葉商科大学 R012

研究指導を含むオンライン対応を確認できる一方、指導体制確度はCです。そのため「オンライン性が高い」ことだけで候補診断に出さず、R012/R013は診断対象外を維持します。

例：開志創造大学大学院 R032/R033

オンライン◎。ただしR032は指導A、R033は指導Bと分けています。オンライン判定と指導体制判定は別軸です。

学費

学費と教育訓練給付は分けて見る

学費は「2027年度公式額」「現行公表額」「過年度参考額」「未確認」を分けて表示します。未公表の2027年度額は推計しません。教育訓練給付も、指定期間・本人要件・申請時期に左右されるため、学費から自動控除せず別枠で扱います。

FIG 04 学費と給付の分離

学費

A：2027確定（4校）
B：現行額等を利用（5校）
C：2026参考・2027未公表（7校）
D：未確認／掲載保留（1校）

教育訓練給付等

指定講座であっても「本人が受給可能」とは限りません。指定期間、対象経費、雇用保険要件、申請時期を別に確認します。

中央	161.58万円	A	2027確定
大原	288万円	A	2027確定
専修	149.4万円	A	2027確定
開志創造	320万円	A	2027確定
千葉商科	282.208万円	B	現行額
亜細亜	189万円	B	現行学則額
拓殖	165.95万円	B	現行公式額
青山学院	314万 / 266万	C	2026参考

給付の例：大原は専門実践教育訓練給付の指定期間内。開志創造も指定期間が2028/9/30まで確認でき、2027/4入学は期間内です。千葉商科は2027/4の再指定申請予定で、結果未確認のため「指定確定」とは表示しません。

指導体制

指導体制A/B/Cの意味

指導体制は、科目担当者の在籍ではなく「免除申請を前提とした研究指導との接続」を確認して判定します。Aは直接確認、Bは候補確認、Cは制度のみ、保留は比較対象として断定できない状態です。

FIG 05 指導体制A/B/Cゲート（34ルート）



B判定の主なルート

青学R004、専修R014/R015、東洋R016/R017、立命館R029、開志創造R033。候補教員は確認していても、2027年度の正式担当・個別受入が未確定です。

C / 保留

千葉商科R012/R013はCのため診断対象外。法政R034は保留で、本編比較・診断とも対象外です。

税法／会計学

税法免除と会計学免除は分けて選ぶ

同じ大学でも、税法免除と会計学免除で研究科・コース・成果物・指導体制が異なる場合があります。下表は候補診断の対象29ルートのみを、免除分野別に整理したものです。

R001	青学｜2年 税務	○	A
R002	青学｜1.5年 税務	◎	A
R005	明治｜MBA 税法	◎	A
R007	明治｜税務専修	○	A
R009	中央｜税法研究	×	A
R010	大原｜税法研究	◎	A
R014	専修｜プロ税法	◎	B
R016	東洋｜税法免除	○	B
R018	亜細亜｜法学研究科	◎	A
R019	亜細亜｜経済学研究科	○	A
R020	日本｜税法コース	◎	A
R022	拓殖｜税法研究	◎	A
R024	駒澤｜租税法演習	×	A
R025	関西｜税法研究	×	A
R029	立命館｜税務プログラム	×	B
R030	神戸学院｜税法研究	×	A
R032	開志創造｜税法演習	◎	A

R003	青学｜2年 会計監査	○	A
R004	青学｜1.5年 会計監査	◎	B
R006	明治｜MBA 会計	◎	A
R008	明治｜会計専修	○	A
R011	大原｜会計学研究	◎	A
R015	専修｜プロ会計	◎	B
R017	東洋｜会計免除	◎	B
R021	日本｜会計コース	◎	A
R023	拓殖｜会計学研究	△	A
R026	関西｜会計学研究	×	A
R031	神戸学院｜会計学研究	×	A
R033	開志創造｜会計演習	◎	B

診断対象外5ルート：R012 千葉商科・税務（指導C）、R013 千葉商科・会計（指導C）、R027/R028 関西学院（2027春の論文指導受付終了）、R034 法政（掲載保留）。

出願期限

2027春入学に向けた期限管理

2026年10月7日時点では、明治大学MBSと開志創造大学大学院が受付期間中です。通常入試と免除論文指導希望者向けの期限は別管理し、締切後は次回募集へロールします。

FIG 06 直近の出願タイムライン

受付中	明治 MBS	10/2-10/13	R005/R006
受付中	開志創造	10/5-10/30	R032/R033
次	千葉商科	10/15-10/29	R012/R013・診断外
次	大原	10/28-11/6	R010/R011
次	青学 会計監査	11/6-11/10	R003/R004
次	明治 会計専門職	11/9-11/13	R007/R008
次	中央	11/23-11/27	R009
次	拓殖	郵送11/30-12/10／窓口12/11	R022/R023
次	立命館	12/3-12/17	R029
次	関西	12/18-1/8	R025/R026
次	東洋	1/5-1/13	R016/R017
次	亜細亜・日本	1/8-1/14	R018-21

受付終了の扱い

関西学院R027/R028は「論文指導：2026/9/24締切済（10月A方式のみ）」。通常入試は継続しますが、2027春の免除論文指導希望者向け受付とは分けて表示します。

選び方

選定の順番

候補校を探すときは、大学名やランキングから入るより、免除分野と働き方の制約を先に固定した方が比較しやすくなります。最後に研究テーマと指導教員の接続を確認し、必要に応じて大学へ直接照会します。

1. **免除分野** — 税法 / 会計学
2. **働き方** — 平日夜・土曜・勤務調整
3. **通学** — 居住地・オンライン・必須登校
4. **費用** — 学費確度・給付条件
5. **指導** — A/B/Cと研究テーマ
6. **期限** — 研究計画・出願締切

FINOWA 税理士大学院候補診断2027

29の診断対象ルートを、免除分野・社会人適合・オンライン・情報確度から候補抽出します。合格可能性や免除可否を断定するツールではありません。

候補を診断する　34ルート比較表

更新方針

問い合わせ回答後の更新方針

本資料は、大学回答・2027年度正式学費・入試要項・指導教員情報に応じて更新します。回答でA化できるものは、指導体制、公開区分、比較表、診断ツール、PDF注記を同期して更新します。確認できない項目は「確認中」のまま残し、推測で補完しません。

FIG 07 更新反映フロー



2026-10-07時点で特に注意するルート

R012/R013：指導体制Cで診断対象外。R027/R028：2027春の論文指導受付終了。R034：掲載保留。R018/R019：亜細亜大学内で研究科を分けて表示。

学校別の一次情報（クリック可）

青山学院大学

明治大学 MBA

明治大学 会計専門職

中央大学

大原大学院大学

千葉商科大学

専修大学

東洋大学

亜細亜大学

日本大学

拓殖大学

駒澤大学

関西大学

関西学院大学

立命館大学

神戸学院大学

開志創造大学大学院

法政大学（掲載保留根拠）

最新版Web比較

候補診断ツール

次回日程ロール予定：2026-10-14以降（明治MBS）